

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

1階 歯科衛生士 河村 瑞恵

誤嚥性肺炎は、細菌で汚染された唾液などが誤って気管から肺に入ることによって起こります。

誤嚥性肺炎の起こり方には主に2種類あります。食事中に飲食物を誤嚥してしまうものと、睡眠中気が付かないうちに細菌が含まれた唾液を誤嚥してしまうものです。

高齢者の方は上手く噛めない、飲み込めないというように口腔機能自体の問題や、口腔ケアが不十分で口の中に汚れが残っていることで細菌が増え、その細菌を含んだ食べ物や唾液の誤嚥を繰り返す事、そして身体の抵抗力が落ちている等の条件が重なった時に発症します。

今後も誤嚥性肺炎を予防するために、利用者の皆様には適切な口腔ケアで感染源となる細菌数を減少させ、安全に食事を摂っていただき、体力を低下させてしまうことのないよう支援していきたいと思えます。



2階 介護 佐藤 誠浩

3月3日にひな祭り会を行いました。

今年も1階の職員によるハンドベルの演奏が披露されました。ハンドベルの美しい音色

に合わせて歌われる利用者の方も多く、大変盛り上がりました。

その他にもひな祭りに関する〇×クイズ大会を行い、参加された方々は真剣な表情で考え、〇×の札を上げていました。

そして昼食にはひな祭り膳、おやつには桜餅が振舞われ、一日を通し春の訪れを感じていただきました。





3階 看護 小笠原 直美

麗らかな春の日差しが心地よいこの頃、ご家族の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルスの感染者数は減少してきていますが、由利本荘市ではインフルエンザが流行しています。呼吸器系の感染症予防として①うがい②手洗い③マスク④人込みを避ける事が挙げられます。どれも基本的なことですが、新型コロナウイルスの影響で、ここ3年間は基本的な対策への意識が高まり、

インフルエンザの発症率がコロナ禍以前より下がったという報告があるようです。

新型コロナウイルスの5類変更に向け、マスク着用などの対策が緩和されておりますが、私達職員一同、医療や福祉に携わるものとして引き続き感染対策をしっかりと行い、入所者皆様の体調管理に努めていきたいと思えます。



相談室 佐々木 智広

現在、新型コロナウイルス感染症への対策が全国的に緩和されておりますが、当施設ではインフルエンザの流行も鑑み、引き続き面会を制限させて頂いております。

面会等につきましては、5月ごろをめぐり、再度紙面やホームページにてご連絡差し上げますので、ご了承ください。



【面会についてのお知らせ】

新型コロナウイルス、及びインフルエンザ感染防止のため、現在対面での面会を中止させて頂いております。

面会制限解除のご連絡につきましては随時ホームページ等でお知らせ致します。

また引き続き10日以内に県外への往来があった方や県外往来者との接触があった方の入館をご遠慮いただいております。上記の方は、備付けのインターホンをご使用いただくか、☎0184-23-7100までご連絡を頂くよう宜しくお願い致します。

ご家族の皆様には長期間にわたり、ご不便やご心配をお掛けしておりますが、ご理解とご協力をお願い致します。

なおご不明な点がございましたら職員にお尋ね下さい。

○お問い合わせ先

介護老人保健施設「しょうわ」

0184-23-7100 (代)